

作成日：2023 年 8 月 9 日

～下記の研究をおこないます～

『Balloon Kyphoplasty を施行した脊椎圧迫骨折患者における
術前 BMI・筋量と早期隣接椎体骨折との関係性の検討：後方視的観察研究』

【研究の目的】

近年、脊椎圧迫骨折に対する新しい治療法として Balloon Kyphoplasty (BKP)が行われるようになってきており、当院でも 2022 年頃より実施しております。脊椎圧迫骨折に対する BKP は疼痛軽減に有効である一方で、術後に隣接椎体骨折という合併症が一定数生じることが報告されています。術後の隣接椎体骨折のリスク因子を調査は様々な研究でされている一方で、術前の Body mass index (BMI) または筋量と早期隣接椎体骨折の関係性については十分に検討されておりません。これらの関係性を調査することは BKP を実施した脊椎椎体骨折の術後経過や周術期リハビリテーションを改善する上で重要な知見になると考えられます。したがって、本研究は当院にて BKP を施行した脊椎圧迫骨折患者における術前 BMI・筋量と早期隣接椎体骨折との関係性を調査することを目的とします。

【研究の期間】

実施承認日～2025 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2022 年 1 月から 2023 年 3 月までの間に総合上飯田第一病院にて、脊椎圧迫骨折に対して BKP を施行され、リハビリテーション処方のあった患者。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：特になし

情報：年齢・性別、身長、体重、BMI、受傷前歩行能力、入院前の生活場所、入院前独居の有無、要介護度、入院時内服薬・外用薬数、手術前後の血液データ、既往歴、受傷日、入院日、手術日、退院日、リハ開始日、リハ終了日、リハ単位数、骨折部位、受傷機転、入院時の血液データ、手術実施前後の胸腹部 CT 画像、疼痛の程度(Face scale)、手術時間、出血量、麻酔時間、In-Out Balance、ASA-PS、コルセット作成の有無、離床開始日、術後歩行自立日、入院中の転倒の有無、隣接椎体骨折の有無・日付、退院先等

●外部への試料・情報の提供

胸腹部 CT 画像における第 3 腰椎レベルの骨格筋横断面積の計測を名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻にて実施する。胸腹部 CT 画像は匿名化して CD-ROM に保存し、共同研究者に渡す。画像計測終了後は CD-ROM を破棄する。

【研究組織】

社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。
- ◎情報等が当研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんには不利益が生じることはありません。

研究責任者

社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院

〒462-0802 愛知県名古屋市北区上飯田北町 2-70

TEL 052-991-3111（代）

お問い合わせ先 庶務課